お知らせ

ユニセフや世界の子どもたちに関心のある方はもちろん、
あなたの好きなことをユニセフ活動に生かしてみませんか？

いつでも
ボランティア
大歓迎!!

- ♪**絵**や**文章を書くのが好き**な方
- ♪**子どもが好き**な方　♪**歌うのが好き**な方
- ♪**ダンスが好き**な方　♪**手作りするのが好き**な方
- ♪**イベントが好き**な方　♪**学習会の組み立てを一緒に考えてくれる方**などなど

[今後の活動予定]

● 県内各地のイベントでブースを出します！

10/23(日) 10-14　「せいきょうまつり」　コカ・コーラウエストスポーツパーク
11/23(水) 11-16　「市民活動フェスタ」 鳥取市さざんか会館
11/27(日) 10-15　「くらよし国際交流フェスティバル」 伯耆しあわせの郷
12/4(日) 11-15:30「タイムフェスティバル」 とりぎん文化会館

テーマは
「児童労働」
展示やクイズを
通して考えて
みましょう!!

11/29(火) 14-16　第6回　役員会　(鳥取大学 広報センター)

児童労働に関する映画も上映!!

第38回 ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金
Hand in Hand
テーマ「栄養不良から 小さな命を守ろう」
11月～12月はハンド・イン・ハンド募金月間。
誰でも参加できるボランティア活動です。
県内各地で開催します。詳しくは、事務局まで。

チョコレートの原料カカオ豆をどこで誰が作っているのか…
あなたは知っていますか？ ガーナで児童労働の問題と出会った日本の女の子たちのドキュメンタリー映画
「バレンタイン一揆」（NPO法人ACE制作）を**上映**
- 2016年 11/29 (火) 15～　鳥取大学 広報センター
- 2017年　2/ 4 (土) 14～　米子市文化ホール

入場無料・どなたでも参加できます

賛助会員募集！

日本ユニセフ協会と各協定地域組織の活動を賛助会費によってご支援いただく方法です。現在、鳥取県でも多くの賛助会員の方にご協力いただいています。鳥取から世界の子どもたちを支えましょう!!

種類	対象	賛助会費
一般賛助会員	個人	一口　5,000円
学生賛助会員	学生(18歳以上)	一口　2,000円
団体賛助会員	団体、法人、企業	一口　100,000円

賛助会員期間は、入会月より１年間です。 賛助会費は寄付金控除の対象になります。 一般・学生賛助会員は個人名でのお申込みに限ります。

■ ユニセフライブラリー

ユニセフの活動を紹介するビデオ・DVD・パネル・学習教材等の貸出しを行っています。

■ビデオ・DVD
「ユニセフと地球のともだち」「すべての子どもに教育を」
「シュヌンシュヌン～子どもたちからのメッセージ」など

■パネル
「ユニセフってなあに」「わたしも学校に行きたい」

■学習教材
「地図でユニセフ」「地球のともだちユニセフワークブック」
幼児向け絵本「ちきゅうからのしつもん」など

■展示ツール
ネパールの水がめ、マラリア対策の蚊帳、経口補水塩など

鳥取県ユニセフ協会

■ 事務局が移転しました

7月より新しい事務局で活動をしています。鳥取県生活協同組合本部内に一室を新設していただき、広いスペースになりました。ユニセフ支援物資や資料の展示、少人数の会議もできますので、どうぞお気軽にお立ち寄りください。

〒680-1202 鳥取市河原町布袋597-1 鳥取県生協本部1階
TEL/FAX：0858-71-0970
E-Mail：unicef-tottori@juno.ocn.ne.jp
（月・火・金）10：00～16：00　（水）10：00～12：00

■ ホームページを開設しました　→　http://unicef-tottori.jp/

unicef

<発　行>
鳥取県ユニセフ協会

とっとりユニセフ通信

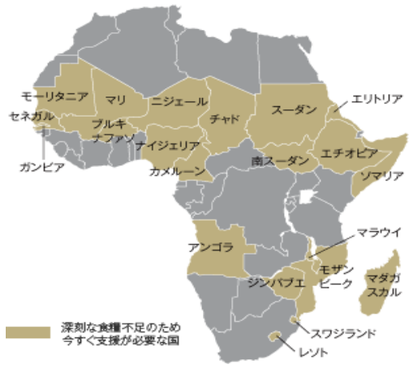
vol. 7
2016年10月

unicef Report ▶▶▶ 世界の子どもたちは今・・

過去最大のアフリカ干ばつ被害
～重度の急性栄養不良におちいる子どもたち～

日本ではあまり報道されていませんが、世界各地に異常気象をもたらした過去最強のエルニーニョ現象の影響で、過去数十年で最大規模の干ばつがアフリカを襲っています。それにより、サハラ砂漠の周辺からアフリカ南部に至る多くの地域で、農作物の不作、食糧価格の高騰による深刻な食糧危機を引き起こしています。家族は食事を抜いたり、生活に必要な財産を売ったりするなど、極端な対処方法を取らざるを得ない状況に追い込まれています。そして今、被害を受けた国々で、子どもたちの栄養状態が急速に悪化しています。

影響を受けている国



過去50年で最悪の干ばつ被害を受けているエチオピアをはじめ、東部・南部アフリカ10ヵ国だけでも2,650万人の子どもたちが、飢餓や病気、脱水症などに命を脅かされています。深刻な食料不足は、以前から紛争や難民問題で疲弊していた西アフリカ諸国にも大きな被害を与え、アフリカ各地で子どもの栄養不良率が緊急レベルを超えています。

ユニセフは、命の危険性が高いこうした子どもたちの治療を最優先に、すべての子どもが安全な水と一日最低一回の栄養食にアクセスできるよう、給水活動や給食支援などに力を注いでいます。また、秋以降に予想される洪水に備え大規模な疾病予防対策も展開していますが、アフリカ全土に広がる被災地域からの支援要請は膨大で、活動資金が大幅に不足しています。

重度の栄養不良に陥った幼い男の子　2016年8月 アンゴラ発

生後18カ月には見えないくらい身体が小さい男の子、ツハフェニくん。重度の急性栄養不良によって消耗症にかかっており、命を落とす可能性もありました。15日前に50キロメートル以上も離れたチウロ保健センターへ祖母のイネスさんに連れられてきました。未だ容態は深刻なままです。回復の兆しが見えてきたら、現在飲んでいる治療用ミルクから、栄養価が高く、すぐ口にできる栄養治療食に切り替える準備ができているかを保健員が診断する予定です。

ユニセフは、治療用ミルクとともに、すぐ口にできる栄養治療食を提供しています。栄養治療食は母親たちに評価が高く、子どもたちも好んで口にしています。

© UNICEF/UN023952/Clark
栄養価の高い治療用ミルクを飲むツハフェニくん

アンゴラでは、干ばつの影響を最も受けている地域で暮らす9万5,977人の子どもたちが、重度の急性栄養不良に陥っています。早急にあらゆる手を尽くして物資を調達し、断固として行動しなければ、ツハフェニくんのような子どもたちの状況は悪化する一方です。

（公財）日本ユニセフ協会HPより

330万人以上
命に関わる栄養不良の子どもたち

(C)UNICEF/Malawi/2015/Chikondi

アフリカ干ばつ緊急募金

■ ゆうちょ銀行 募金口座
振替口座 ： 00190-5-31000
口座名義 ： 公益財団法人 日本ユニセフ協会
＊ 通信欄に「アフリカ」「K1-310 鳥取県」と明記 願います。
＊ 窓口での振り込みの場合は、送金手数料が免除されます。

活動報告

- 3/26 (土) ～ 4/6 (水)　米子市児童文化センター
- 4/10 (日) ～ 4/30 (土)　鳥取県立人権ひろば21　ふらっと

■ ユニセフパネル展

「もったいないばあさんのワールドレポート展」を県内2ヵ所で開催しました。

■ ラブウォーク in 鳥取

5/22(日)

毎年、中部地域でコースを変えながら開催しています。今年は、打吹山から白壁土蔵群がコース。途中、ガールスカウトの子どもたちによる歴史スポットでの説明とユニセフクイズを解き、みんなでさわやかな新緑の中を気持ちよく歩きました。ゴールでは、竹で組んだ立ち釜による焼きマシュマロ作りを体験して、あちこちでおいしいとの声があがっていました。

焼きマシュマロ
みんなが夢中!!

参加者の感想

♡ 地元ですが、知らないところもあり、目からウロコの情報も聞けて楽しかったです。
♡ 東部から参加しました。普段とは違うゆったりとした時間のウォーク。子どもにもちょうどいい距離で、来年も参加したいです。

学習講師研修会

6/16(木)～17(金)　日本ユニセフ協会ユニセフハウス

全国の協定地域組織から、スタッフや活動されているボランティアの方たちが大集合。学習会で行っているワークショップの実例が紹介され、どの地域組織も、ユニセフの活動を理解してもらうため、工夫を重ねてこられていることがよくわかりました。

今回参加してみて、活動を広げていくためには、他団体と協力しておくことの必要性、また、ボランティアの養成講座を行い、育てていくことの必要性を強く感じました。また、さまざまな地域組織の方と触れ合い、とても刺激を受けた2日間でした。

2030年、
地方の理想の姿は？
それに向けて
私たちにできることは？

［会　議］

● 第5回　役員会
2016/4/19（火）
鳥取大学　広報センター

七タネットワーク

7/2(土)　香川県高松市 レグザムホール

「伝えよう！広げよう！子どもの夢」 今、自分にできることを一緒に考え、気づくフォーラムとして、今年は香川県で開催されました。

UNICEF東京事務所代表　木村康政氏による基調講演「持続可能な開発目標SDGsと私たちの活動」では、これから15年の目標であるSDGsの17項目のうち、ユニセフに関わる項目についての説明を聞き、地球温暖化やテロなど社会が複雑化していく中、これからは国を超えてみんなで考えていくことが必要である、そのためには、「知ること・行動すること・政府に求めていくこと」が大切であるとお話しされました。

また、ワークショップでは「私たちにできること-地域の可能性-」を地域組織毎で考え、他の地域組織と意見交換を行いました。

最後に、木村さんから ●情報発信 ●Movementを起こす若い力 ●地元企業との協力 ●全地域組織でできる活動 ●オリンピック関連で体を動かす活動(子どもの遊ぶ権利) のキーワードをいただき、今後の活動に生かしていければと感じました。

■ ガールスカウト第1団　ユニセフ学習会

7/3（日）　鳥取砂丘こどもの国 キャンプ場

泥水をろ過中

梅雨のやや強い雨が降る中、キャンプ場の炊飯棟で、スカウト10人、リーダー5人の皆さんと、「水の衛生」をテーマに学習しました。

まず、導入として、地球全体から見ると私たちが使える水はごくわずかであること（ヴォルヴィック「お水の教室」の教材“地球の水のはなし”）を学習したあとで、「ペットボトルを使ったろ過装置つくりと浄水実験」、「経口補水塩作り」を行いました。あらためて、普段使う水の大切さ、命を守る水について考える機会となりました。

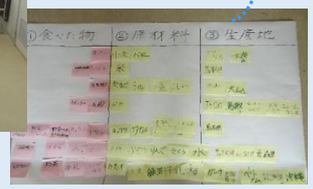
最後に、水の衛生に関わるユニセフの支援物資（浄水剤、経口補水塩）を紹介し、スカウトの皆さんは、募金活動に取り組む団の活動が、“世界の子どもたちの支援につながっていること”、“自分たちにできること＝募金活動”を感じ取ったようでした。

■ 夏休みユニセフ学習会

7/26（火）米子市　8/9（火）鳥取市

小学校5、6年生を対象に、今年は県内2ヵ所で昨年と同じ「世界の貧困問題を考える」というテーマで、理事の中尾和則さんに講師をしていただきました。

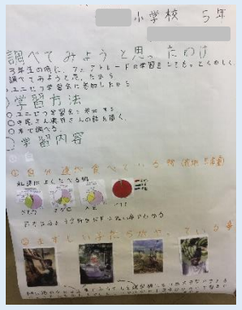
チョコレート一枚ができる過程を考えてもらい、安い価格で買える背景に児童労働があることを伝えました。今の日本の生活が、世界と密接につながっていることを知り、自分たちのできることを考えるきっかけになればと思います。



小学生の感想

今まで普通に買っていたチョコレートなどは、子どもたちが大変な思いをして作ったものだということがわかりました。これからは意識して買うようにしていこうと思いました。

また、フェアトレードマークのついた物をなるべく買うようにしていきたいと思います。



小学生の感想

午前中に講師の方の話をじっくりきけたので、とても勉強になりました。午後からは各自、自由研究に向けて用紙にまとめることが出来て良かったです。テーマが子どもの労働だったので、自分と重ねて考え、今の自分は幸せだと感じました。

よなご国際交流フェスティバル

9/25(日)　米子市文化ホール

皆さんは「児童労働」と「フェアトレード」をご存じですか？
今年のフェスティバルでは、ワークショップでインドの児童労働（紙袋作り）を体験してもらい、展示で児童労働とフェアトレードについて知ってもらいました。今後、**児童労働の問題を取り上げたドキュメンタリー映画「バレンタイン一揆」も上映**します。

紙袋作り体験

●児童労働とは …
義務教育を受けるべき年齢の子どもが教育を受けずに大人と同じように働くことと、18歳未満の危険で有害な労働。
世界の子どもの9人に1人が児童労働をしています。

●フェアトレードとは …
生産者が人間らしく暮らし、よりよい暮らしを目指すため、正当な値段で作られたものを売り買いすること。

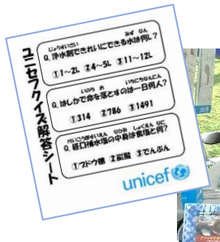
大山まきば祭

9/25(日)　大山まきばみるくの里

「アフリカ干ばつ緊急募金」活動を行いました。

まず、ブース来場者には、支援物資の浄水剤、はしかワクチン、経口補水塩のクイズに参加してもらい、その後、アフリカの現状とユニセフが支援している内容をパネルで見てもらいました。

募金額は、4,592円。
ご協力ありがとうございました。



アフリカ干ばつ緊急募金にも3,079円のご協力をいただきました。